資料 B

発行：令和元年 11 月 5 日

令和元年 度１１月　第２回　学校関係者評価委員会　議事録	
開催日時	令和元年 11 月 1 日（金）17 時 00 分～ 19 時 00 分
開催場所	東京工科自動車大学校世田谷校 401 教室
参加委員★委員長	中村　雅一・三羽　和彦・小野　宗憲・西川　浩之・佐藤　久郎 欠席者★井組　浩紀・佐藤　学
参加事務局	佐藤　康夫・武井　和則・麻野　利治
会議録	【次　第】 日　時　令和元年 11 月 1 日（金）17:00～19:00 会　場　東京工科自動車大学校世田谷校　401 教室 1.　開会・校長挨拶 東京工科自動車大学校世田谷校　校長　佐藤　康夫 2.　委員会成立の確認 3.　議長・書記の選出 4.　議事 第 1 号議案　前回議事録の確認についての質問 第 2 号議案　公開情報公開について 第 3 号議案　令和元年度取り組みに関する進捗状況 Ⅰ．就職 Ⅱ．資格取得 Ⅲ．在籍状況・募集状況 Ⅳ．その他 5.　意見交換

6.　事務連絡（事務局）

７．　閉会

＜配布資料＞

・議事次第　【資料Ａ】
・令和元年度　第２回学校関係者評価委員説明資料【資料Ｂ】
・その他（高等教育無償化資料）

1.　開会・校長挨拶（世田谷校：校長）

2.　委員会成立の確認（事務局）
会則第５条の基づき、出席者が委員総数の過半数の出席を満たしているため成立していることを確認した。

3.　議長選出
事務局より委員の佐藤氏を推薦し、全会一致で承認され、以後進行は議長による。書記は新中村委員が選任された。

4.　議事（議長）
第１号議案
1）第１回学校関係者評価委員会の議事録についての質問等（議長）
議長より前回の議事録についての質問等についての問いかけに特に質問はなく、前回議事録は承認された。

第２号議案
2）公開情報公開について（事務局・副校長）
職業実践専門課程の公開情報更新について、令和元年７月末日に更新した旨の報告があった。高等教育無償化の申請に当たっても、公開情報の更新が必須であることも併せて報告し承認された。

第３号議案
3）令和元年度取り組みに関する進捗状況（事務局・校長）
Ⅰ就職
・現在の就職状況について、８月末100％が達成できなかった状況の報告、10月末に100％を達成した報告がされた。
また、１級自動車エンジニア科の目標である自動車メーカー系への就職率が、今年度４年生は100％である事の報告がされた。
Ⅱ資格
・１級取得について、１級プロジェクト会議の継続と現在までの取り組み、今後の取り組みについて、昨年度は非常に良い結果が出たが、引き続き高合格率を目指す内容について報告がされた。

Ⅲ在籍状況・募集状況

・10 月末現在の在籍状況について、留学生のビザ更新が厳しくなっている状況の報告があり国によっても更新状況が違い、現在の休学者、退学者の 63%がビザ更新不可の留学生であり、日本語学校時代のアルバイト時間の超過、留年した留学生のビザ更新不可の詳細報告がされた。
・10 月末現在の募集状況について、高校生を中心に月 2～3 回のオープンキャンパスを行っており、出願がスタートしている。
科別の出願状況について、1 級は昨年、一昨年を上回るペースで推移している。
自動車整備科については、留学生は昨年度と大きく変化していないが、日本人の出願が落ち込んでいる。
メルセデス・ベンツコースは非常に良いペースで進んでいる。
夜間については、昨年・一昨年と同ペースで進んでいる。
全体的に日本人の出願が減少してきているが、昨年度より全体の出願人数は増えているとの報告がされた。

Ⅳその他
(高等教育無償化)

・世田谷校が高等教育無償化の認定校となった報告がされ、高等教育無償化について、職業実践専門課程は専門学校を対象に認定を受けているが、高等教育無償化は大学を含めた専門学校全部が主な対象となっており、大学も専門学校も横並びにした中で認定を受けたことが大い
に意義があるとの報告がされた。

(教育日程)
・資料を基に令和元年度卒業式までの教育日程が報告された。

5.意見交換
・議案についての質問
Q.留学生の就職先と日本での希望就労年数について知りたい。

A.入学時の面接では全員日本での就職希望、就労年数については、ヒアリングでは 20%が定住希望、80%が 5 年～10 年程度の就労希望である説明がされた。
併せて就労ビザが取得できない専門学校についても説明があった。

Q.整備の募集が 1 級、メルセデスは強いがどの様な取り組みなのか
また、整備が弱いが今後募集について広告等打ち出していくのか。

A. 今年度の募集に関しては、昨年度イベント等を駆使して 2 年生を
多く集客した。しかし各学科を満遍なく集めるにはマンパワーにも欠けるため、1 級とメルセデスを核にして募集を行った。
定員に近くしその流れで整備への誘導を行う計画で、現在はその流れで推移している。また、次年度も考え 8 月のイベントは今まで以上の集客数で、次年度対象も多く来校している。12 月のイベントも現在すでに昨年の集客数と同数の予約が入っている。今年度の募集と並行して、次年度の募集についても取り組んでいる。
次年度の対象者を既に集客している理由についても説明があった。

Q.世田谷校の近くに高校が 2 校あるがこの 2 校に対してどの様な
広報をされているのか。

A. 進路担当の部署があり、アポイントが取れて日程が合う場合は
副校長が同行し広報を行っている。

Q.近隣の高校の学校関係協議会に参加しているが、御校の話が出てこない近くにあるので考えてはどうか。

A. 近隣にある 2 校は都立のため先生の異動があり進路担当者が変わることが多々ある。高校でのガイダンスはエージェントを通して行っており、希望者がいない場合は、ガイダンスの呼ばれず広報が出来ない。
国土交通省も動いているが自動車系の希望者が少ない。

・その他、地域委員より地域活動を通じて交流が出来るように出来ればと考えている。出来る限り協力していきたいとの話が合った。

Q.高等教育無償化認定となった都内の自動車系専門学校は何校ぐらいか？

A. 現在東京工科以外に 3 校あるが、全ての学校が職業実践専門課程であり全ての学校が高等教育無償化認定を受けている。
自動車系は自動車整備専門学校協会を通して、情報共有を行っており他の系列の専門学校より進んでいるとの説明もあった。

質疑応答が終わり、第 3 号議案が承認された。

6.事務連絡（事務局）

・2019 年度　学校関係者評価委員会の進め方について詳細のスケジュール説明が、事務局より行われたが次年度の学校関係者評価委員会の日程については、オリンピックの関係で年間教育日程が確定していないため、決まり次第連絡をしたいとの説明があった。

７．閉会

令和元年度第２回学校関係者評価委員会が閉会された。

以上

委員会風景